

住民の自治会デジタル化に関する意識調査
報告書（速報版）

2025 年 2 月

豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系

小野悠研究室

（修士 1 年：稲垣迪和、研究員：児玉欣輝）

アンケート調査概要

少子高齢化に伴い、自治会は加入率低下や役員の担い手不足が課題となっている。課題へのアプローチとして、回覧板や地域のお知らせ、災害時の安否確認にデジタルツールを導入する事例が見られ始めており、本調査対象地である愛知県豊橋市でも、一部地域で電子回覧板アプリの導入が始まっている。一方で、導入障壁や導入拡大に際しての課題や、デジタルツールの利用状況、自治会活動への参加状況、デジタル化へどのような期待や不安を抱えているかは明らかとなっていない現状がある。

本調査は、豊橋市の住民の地域への意識や自治会活動への満足度、自治会活動のデジタル化（ICT ツール導入）への意向を明らかにすることで、自治会活動のあり方や支援のあり方について検討することを目的に、豊橋市にお住まいの方へアンケート調査を実施した。回答は質問紙の郵送回答と Web 回答の両方で収集し、26.4%の回収率を得た（表 1）。また、配布に際しては校区ごとの地域性や、高齢化や年代による回答の得やすさの違いへ配慮し、各年代ごと概ね同様の配布数になるように各校区同数配布を行った（表 2、図 1）

表1. アンケート調査概要

調査期間	2024 年 12 月～2025 年 1 月
実施場所	愛知県豊橋市
調査方法	質問紙／Web アンケート調査
調査対象	豊橋市の住民（市内全 51 校区（図 1）、各校区 50 件配布） 各年代への配布数は表 2 に示す
回答状況	質問紙：433 件、Web アンケート：241 件 回収率：26.4%（674/2550）
有効回答数	613 件（91.0%）
質問項目	<ul style="list-style-type: none">・地域の人々とのおつきあい、幸福感、生活満足度、地域への愛着・自治会への参加状況・自治会活動への満足度・自治会活動のデジタル化に関する意向、期待や不安・回答者の基本情報・インターネット利用に関する設問・自治会活動のデジタル化への自由記述
調査主体	豊橋技術科学大学 小野研究室 協力：豊橋市市民協働推進課

表 2. アンケート配布数

	1 校区あたりの配布数	× 51 校区
18～20 代	9	459
30 代	8	408
40 代	8	408
50 代	8	408
60 代	8	408
70 代以上	9	459
合計	50	2550



図 1. 豊橋市校区編成

調査票

豊橋市にお住いのみなさま

本アンケートは、豊橋市大学研究活動費補助金の対象となった研究活動の一環として豊橋技術科学大学が行うものです。本市としましては、まちづくりや地域の発展に大いに寄与する活動であると考えております。市民のみなさまにおかれましては、お忙しいところ恐縮ではございますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

豊橋市役所 市民協働推進課

2024 年 12 月

豊橋市にお住まいのみなさま

豊橋技術科学大学 小野悠研究室

「自治会活動のデジタル化に関するアンケート」ご協力のお願い

この度、豊橋市にお住まいの皆さまを対象にアンケートを企画しました。全国的に自治会活動への情報通信技術（ICT）*の導入が進んでいます。豊橋市においてもデジタル化を検討・実施する自治会が見られます。この調査は、自治会活動のデジタル化（ICT ツール導入）に関する実態やご意向をお聞きすることで、自治会活動のあり方や支援のあり方について検討することを目的としています。なお、この調査は大学の研究の一環として行うものであり、行政施策に直接関わるものではありませんが、研究結果につきましては、豊橋市と共有する予定です。

* 情報通信技術（ICT）ツールとは、LINE 等のチャットアプリ、Zoom や Google Meet 等のオンライン会議システムなどの日常生活や仕事をサポートしてくれるツールを総称したものです。

【回答方法】

以下の①または②を選んで、1 月 31 日（金）までにご回答ください。

- ① 右の QR コードより Web アンケート で回答してご送信ください。
- ② 本アンケート用紙に回答して返信用封筒に入れて郵便ポストへ投函ください。



で囲まれた部分が回答欄になります。

また、ご回答頂いた内容はすべて統計的に処理いたします。個々の回答や個人の情報が公表されることは決してございません。アンケートについてご不明な点がございましたら、下記にお問い合わせ下さい。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力を頂戴できれば幸いです。

【お問い合わせ先】

豊橋技術科学大学 小野悠研究室

〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘 1-1

Tel. 0532-44-6832

inagaki.michikazu.dq@tut.jp（修士 1 年 稲垣迪和）

あなたご自身についてお聞きします。

Q1 次の事項が、あなたにどれくらいあてはまるか直感的にお答えください。(それぞれ1つずつ○)

	あてはまる	やや あてはまる	どちらとも いえない	あまりあて はまらない	あてはまら ない
1) 地域に助け合える人がいる	1	2	3	4	5
2) 今、幸福であると思う	1	2	3	4	5
3) 精神的にゆとりのある生活をしている	1	2	3	4	5
4) これまでの生き方に納得できている	1	2	3	4	5
5) 地域に愛着を感じる	1	2	3	4	5
6) 地域に誇りを感じる	1	2	3	4	5
7) 地域を離れたくないと思う	1	2	3	4	5
8) 地域の雰囲気や土地柄が気に入っている	1	2	3	4	5
9) 地域に自分の場所がある気がする	1	2	3	4	5

あなたの自治会への参加状況についてお聞きします。

Q2 自治会に加入していますか？(1つだけ○)

1 している 2 していない 3 分からない

Q3 お住まいの小学校区をお答えください。(1つだけ○)

1 岩田	2 豊	3 東田	4 旭	5 八町	6 松葉	7 松山	8 新川
9 向山	10 花田	11 羽根井	12 下地	13 大村	14 津田	15 吉田方	16 牟呂
17 汐田	18 高師	19 芦原	20 福岡	21 中野	22 栄	23 磯辺	24 大崎
25 植田	26 野依	27 大清水	28 富士見	29 牛川	30 鷹丘	31 下条	32 多米
33 岩西	34 つつじが丘	35 飯村	36 天伯	37 幸	38 前芝	39 石巻	40 西郷
41 玉川	42 嵩山	43 賀茂	44 二川	45 二川南	46 谷川	47 小沢	48 細谷
49 高豊(高根・豊南)	50 老津	51 杉山					

Q4 自治会や地域の各種委員で経験したことのある役職をすべて選択してください。(いくつでも○)

a 会長・副会長・会計・監事 b 組長
c 各種委員(子ども会、消防団、PTAなど) d 経験なし

Q5 自治会活動について最も近いものをお答えください。(それぞれ1つずつ○)

	あてはまる	やや あてはまる	どちらとも いえない	あまりあては まらない	あてはまら ない
1) 自治会の活動に積極的に参加している	1	2	3	4	5
2) 自治会の活動に満足している	1	2	3	4	5
3) 自治会は必要だと思う	1	2	3	4	5

Q6 自治会との距離感について、直感的にお答えください。(1つだけ○)

1 とても良い 2 良い 3 普通 4 あまり良くない 5 良くない

Q7 自治会の活動で重要だと思うものを3つまでお答えください。(3つまで選択○)

a 地域清掃	b 資源回収	c ごみ集積場の管理
d 交通安全	e 防災活動	f 防火・防犯
g 敬老のお祝い	h 街路灯の維持管理	i 掲示板の設置・管理
j 運動会・お祭り	k 声かけ・見守り	l 行政への要望・行政との連携
m 行政文書の配布・回覧	n 地域情報の配布・回覧	o 慶弔事業
p 地域住民の相談対応	q 募金	r 共同施設(集会所等)の維持・管理

Q8 あなたの各自治会活動における満足度を教えてください。(それぞれ1つずつ○)

	満足 している	やや満足 している	普通	やや不満 がある	不満が ある
1) 親睦行事 (運動会・お祭りなど)	1	2	3	4	5
2) 生活安全活動 (交通安全、防災活動、防火・防犯など)	1	2	3	4	5
3) 環境美化活動 (地域清掃、資源回収、ごみ集積場所の管理、 街路灯の維持管理など)	1	2	3	4	5
4) 福祉活動 (声かけ・見守りの活動、地域住民の相談対 応、敬老のお祝い、慶弔事業、募金など)	1	2	3	4	5
5) 情報発信 (地域情報紙の作成・配布・回覧、行政文書の 配布・回覧、掲示板の設置・管理など)	1	2	3	4	5
6) 行政への要望・行政との連携	1	2	3	4	5
7) 自治会運営 (会費の回収、共同施設の維持・管理など)	1	2	3	4	5

自治会のデジタル化 (ICT ツール導入など) についてお聞きします。

Q9 自治会活動のデジタル化 (ICT ツール導入など) についてどう感じますか。(それぞれ1つずつ○)

	あてはまる	やや あてはまる	どちらとも いえない	あまりあて はまらない	あてはまら ない	わから ない
1) 導入について関心がある	1	2	3	4	5	6
2) 導入について不安がある	1	2	3	4	5	6
3) 導入によって自治会がより良くなると期待する	1	2	3	4	5	6
4) 導入によって地域がより良くなると期待する	1	2	3	4	5	6

Q10 あなたは自治会のデジタル化についてどのような期待をお持ちですか。(いくつでも○)

a 若手役員の増加	b 住民間交流の活発化	c 自治会活動への参加者の増加
d 経費削減	e 回覧板業務の簡略化	f 自治会加入者の増加
g 引継ぎの簡略化	h データ管理の集約	i 災害時の安否確認
j 災害情報伝達	k 出欠連絡の簡略化	l 親睦行事・イベントの活性化
m 町会費の電子決済	n 総会・会合の参加率向上	o 地域情報の入手のしやすさ
p 防火・防犯の向上	q 地域の見守り	r 地域の維持管理業務の効率化
s 情報発信	t 行政との連携	u 地域住民の相談対応 (意見箱)
v 期待はない	w その他: ()	

Q11 自治会の各種活動のデジタル化にどのような不安をお持ちですか。(いくつでも○)

a 個人情報の漏洩	b 回覧物への関心の低下	c スマホを使えない住民への対応
d ツールへの理解	e 運用の担い手	f スマホを使える住民と使えない住民の情報格差
g 運用コスト	h 不安はない	i 住民交流機会の減少
j 住民関係の希薄化	k 自治会への関心の低下	l 安否確認の機会の減少
m その他: ()		

Q12 自治会活動のデジタル化において、あったら良いと思うコンテンツは何ですか。(いくつでも○)

a イベント情報の発信	b 地域情報の発信	c オンライン会議の設置
d 気軽に意見を言える意見箱	e 細かな地域・町内情報の共有	
f 地域の飲食店のクーポン等のお得情報		
g その他: ()		

あなたご自身とご家族についてお聞きします。

Q13 あなたご自身についてお答えください。(それぞれ1つずつ○)

1) 年齢	1 20代以下 2 30代 3 40代 4 50代 5 60代 6 70代 7 80代 8 90代以上
2) 性別	1 女性 2 男性 3 その他 4 回答しない
3) ご職業	1 専業主婦・主夫（パートや内職・家族従業をしていない方） 2 無職（定年退職された方を含む） 3 学生（アルバイトをしている方を含む） 4 臨時雇用・パート・アルバイト 5 派遣社員・契約社員・請負業務・委託業務 6 正規雇用されている一般社員・一般職員（公務員・教員を含む） 7 自営業主または家族従業者 8 経営者・会社役員・団体役員 9 その他
4) 世帯構成	1 単身 2 夫婦のみ 3 親と子の2世代同居 4 3世代同居 5 その他
5) 今の地域にお住まい になりはじめたの はいつ頃ですか。	1 1959年以前 2 1960年以降 1979年以前 3 1980年以降 1999年以前 4 2000年以降 2009年以前 5 2010年以降 2019年以前 6 2020年以降
6) あなたのお住まい	1 持ち家・一戸建て 2 賃貸・集合住宅（社宅・寮などを含む） 3 持ち家・集合住宅 4 賃貸・一戸建て（社宅・寮などを含む） 5 その他

Q14 現在、同居している方は何人いますか。いない場合は「0」とお答えください。(数字を記入)

(1) あなたを含めた全員 人 (2) そのうち 18歳未満 人

Q15 インターネットをどの程度利用しますか？(1つだけ○)

1 毎日少なくとも1回	2 2～3日に1回程度	3 月に数回程度	4 利用しない
-------------	-------------	----------	---------

Q16 インターネットを利用する端末をすべて選んでください。(いくつでも○)

a スマートフォン	b パソコン	c タブレット
d 携帯電話・PHS（スマートフォンを除く）	e その他	f 利用しない

Q17 インターネットで利用するツールをすべて選んでください。(いくつでも○)

a メール	b LINE	c Facebook・Instagram	d X(旧Twitter)
e オンライン会議システム（Zoom・Teams・Google Meet）	f YouTube	g 利用しない	

Q18 今後の自治会活動のデジタル化（ICTツール導入など）に関して、課題とを感じる部分、推進したい部分、興味などを自由にご記入ください。

アンケートは以上になります。ご協力ありがとうございました。

アンケート調査結果

(1) 回答者の基本情報

回答者は50代、60代の回答割合がやや高いものの、おおよそ各年代、同程度の割合で回答を得ることができた（図2）。性別は女性がやや多い（図3）。職業は正規雇用されている一般社員が32.1%とやや多いが、専業主婦や無職の者の回答も一定数得ることができた（図4）。世帯構成については、単身世帯は6.5%と少なく、親と子の2世代同居が52.5%と最多であった（図5）。居住年数については、1980年以降1999年以前が28.1%と最多であったが、それ以外は同程度の割合であった（図6）。住まいについては、持ち家・一戸建てが86.7%と最多であった（図7）。同居人数については、2人が30.8%と最多であった。親と子の2世代同居の世帯が多かったことから、同居人数は3人4人である世帯も多かった（図8）。18歳未満の人数については、0人が37.9%と最多であった。続いて、1人である世帯が31.0%であり、2人になると15%以下にまで減少する結果となった（図9）。

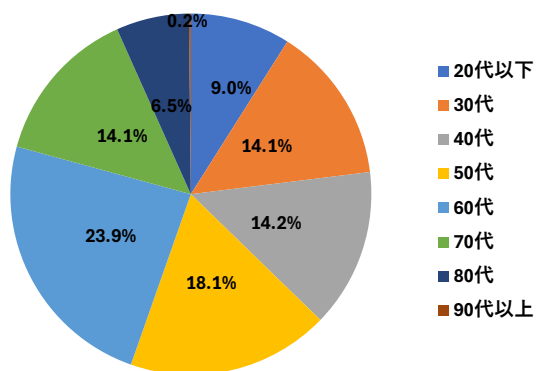


図2. 年齢 [N=612]

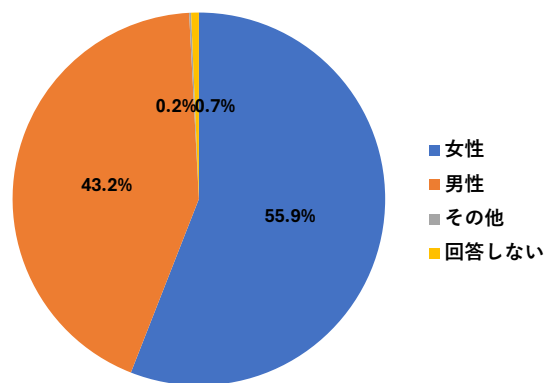


図3. 性別 [N=597]

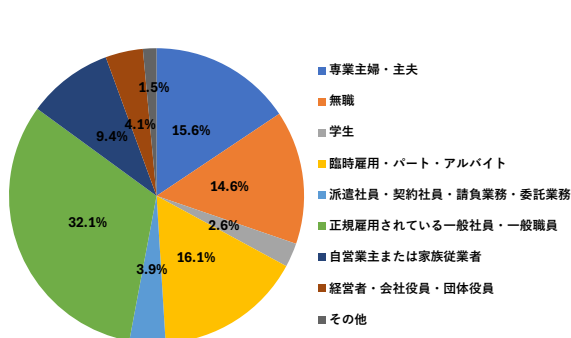


図4. 職業 [N=608]

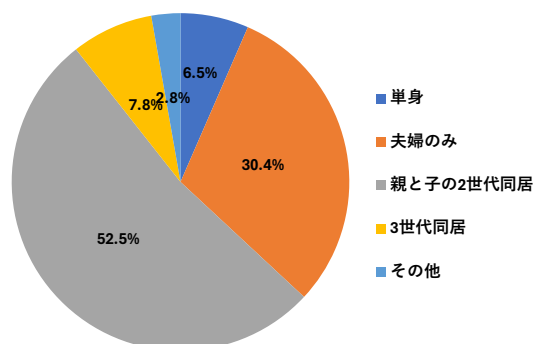


図5. 世帯構成 [N=612]

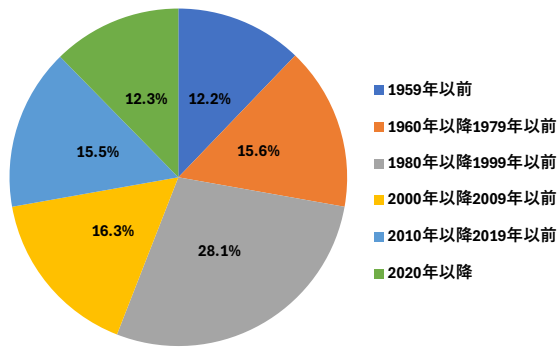


図 6. 居住年数[N=608]

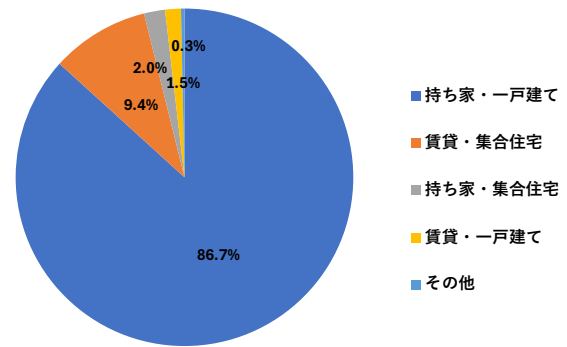


図 7. 住まい[N=596]

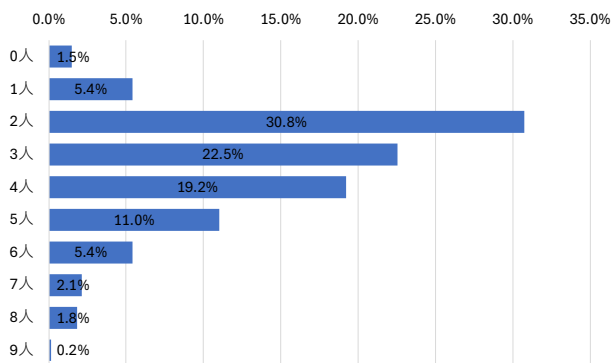


図 8. 同居人数[N=608]

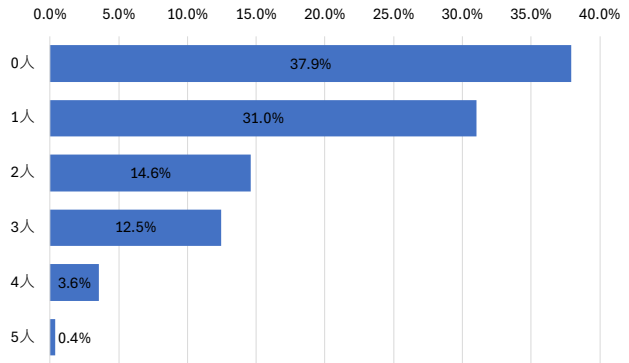


図 9. 同居人数のうち 18 歳未満の人数[N=506]

(2) 地域の人々とのおつきあい、幸福感、生活満足度、地域への愛着

地域に助け合える人がいるかという問いに対しては、「あてはまる」が 26.3%、「ややあてはまる」が 35.0%と合わせて 6 割程度であった。今、幸福であるかという問いに対しては、「あてはまる」が 35.9%、「ややあてはまる」が 40.8%であり、幸福に感じている人が多い結果となった。他の問いに対しても、「あてはまる」「ややあてはまる」を合わせて 6 割程度を占めるものが大半となった。しかし、地域に誇りを感じるかという問いに対しては、「あてはまる」「ややあてはまる」を合わせて 4 割程度とやや低い結果となった（図 10）。

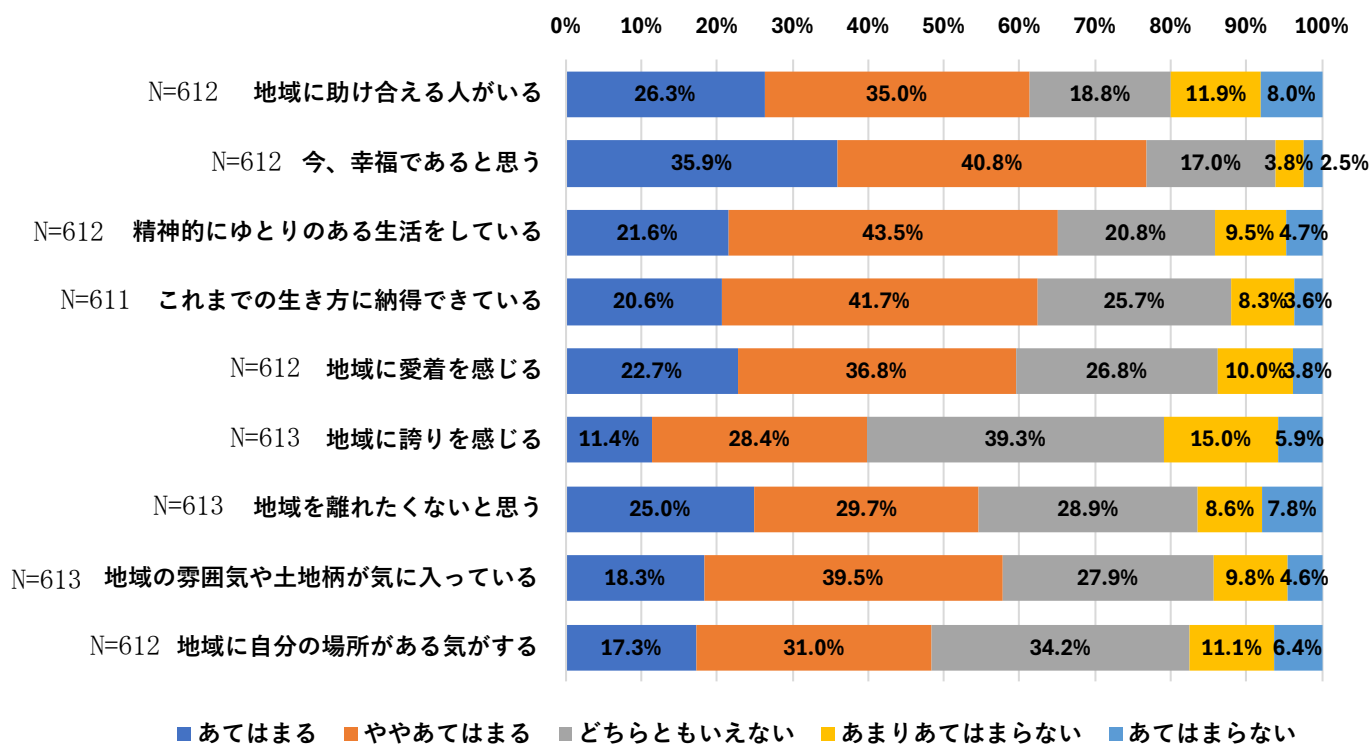


図 10. 地域の人々とのお付き合い、幸福感、生活満足度、地域への愛着

(3) 自治会について

自治会加入率は80%、していないものが14%、わからないものが6%であった（図 11）。自治会役員歴は組長が 57.3%で最多であった（図 12）。自治会の活動に積極的に参加しているかという問いに対しては、「あてはまる」「ややあてはまる」を合わせて約4割、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」を合わせて約4割であり、積極的なものと消極的なものが同程度であった。

自治会の活動に満足しているかという問いに対しては、「どちらでもない」が 43.3%と最多であった。満足しているものの方がやや多い結果となった。自治会は必要だと思うかという問いに対しては、半数以上が必要であるという結果となった（図 13）。自治会との距離感については、「普通」が62.0%と半数以上を占めた（図 14）。多少のばらつきはあるが、すべての校区からの回答を得ることができた（図 15）。

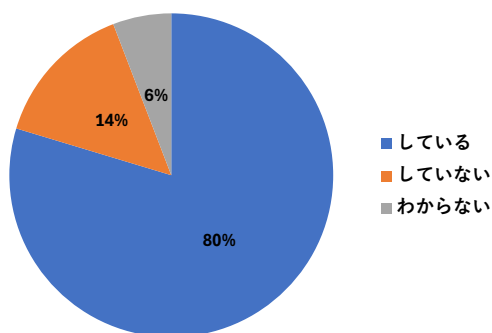


図 11. 自治会加入率[N=600]

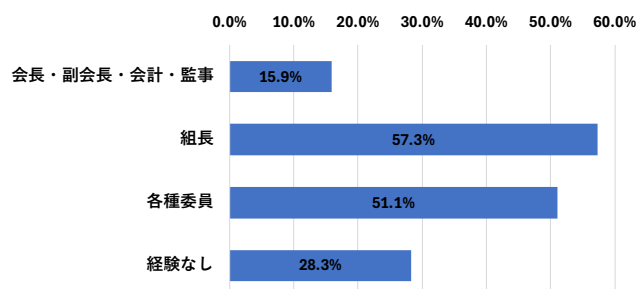


図 12. 自治会役員歴（複数回答）[N=610]

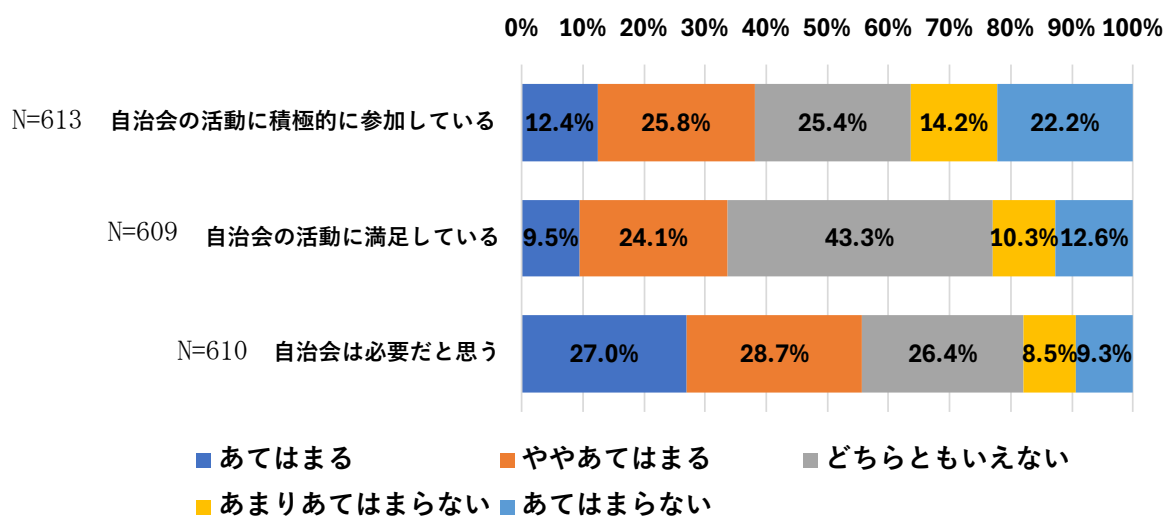


図 13. 自治会活動への参加状況、満足度

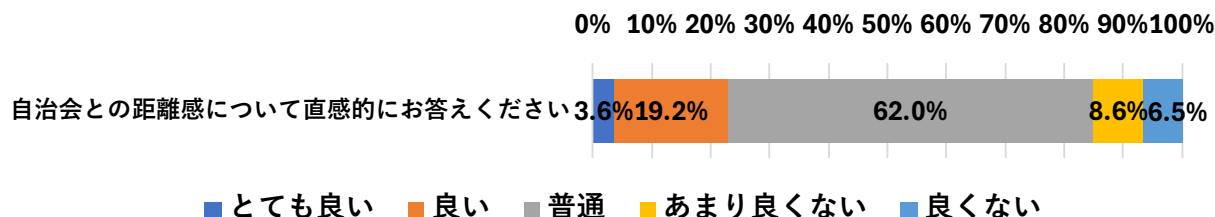


図 14. 自治会との距離感[N=603]

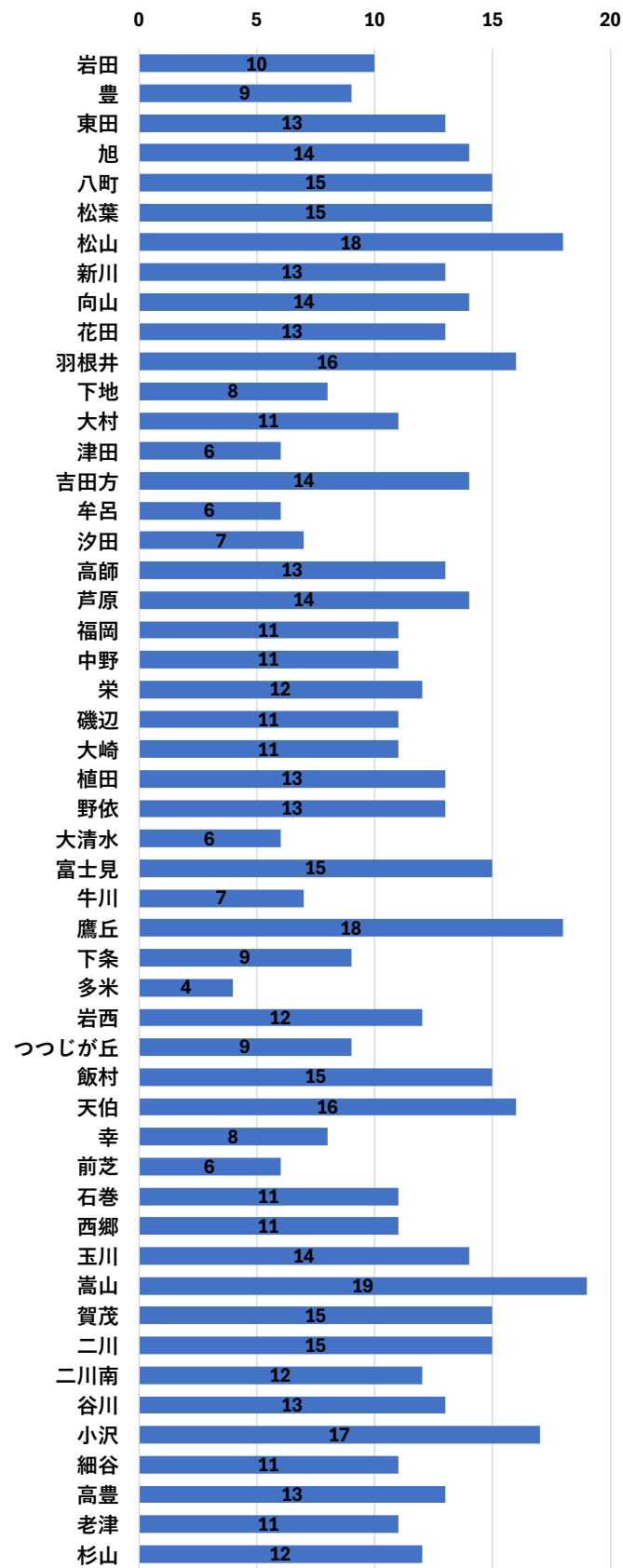


図 15. お住まいの小学校区[N=610]

(4) 自治会活動について

重要だと思う自治会活動については、ごみ集積場所の管理が 42.7%と最多であり、続いて防火・防犯が 30.1%、地域清掃が 24.9%という結果となった。ごみ集積場所の管理、地域清掃、資源回収等の地域の維持管理の活動が多い傾向であった。次いで防災活動、防火・防犯、声かけ・見守りの活動等の地域の安全や防災活動がやや多い傾向であった。行政への要望・連携や行政文書・地域情報の配布・回覧等についても 17%程度と少なくない割合で回答が得られた（図 16）。

各自治会活動への満足度については、環境美化活動が「満足している」「やや満足している」を合わせて 40.4%と一番高く、次いで情報発信が「満足している」「やや満足している」を合わせて 35.4%であった。一方で、行政への要望・連携が「やや不満がある」「不満がある」を合わせて 20.2%と不満を持っているものが比較的多い結果となった（図 17）。

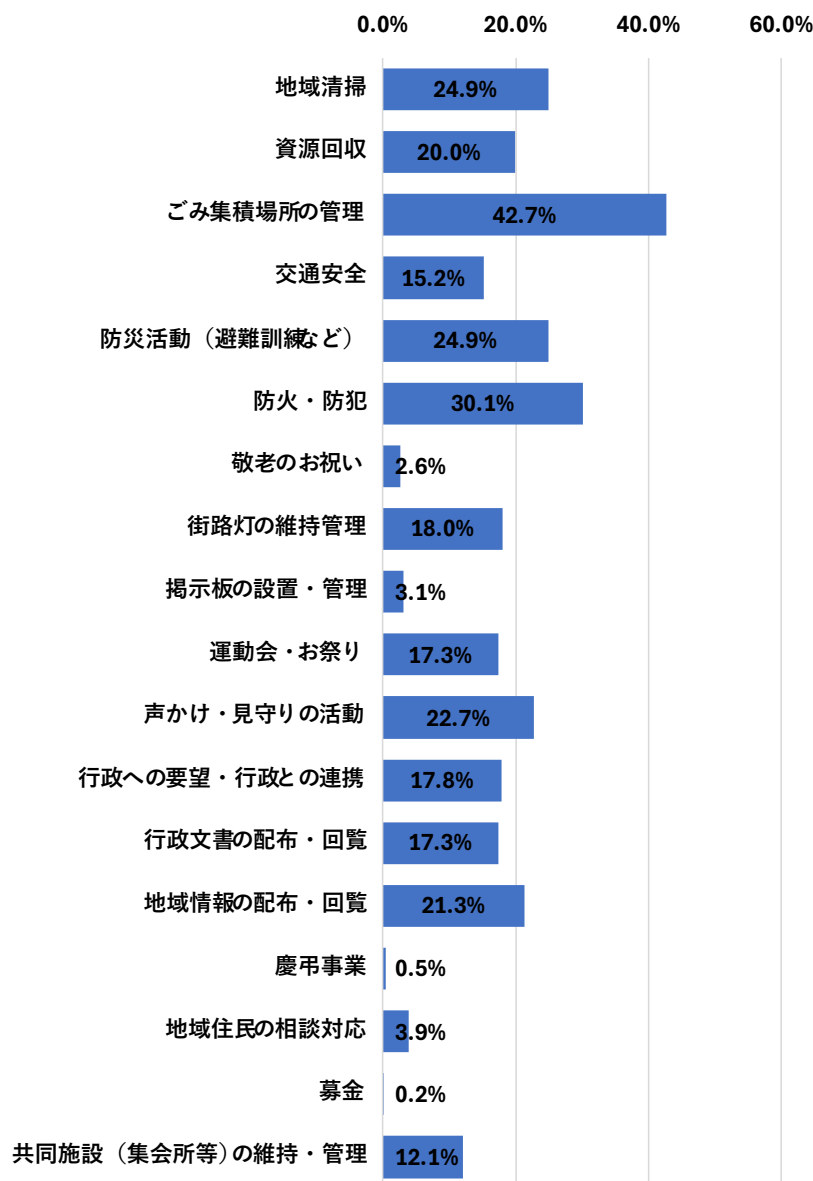


図 16. 重要だと思う自治会活動（3つまで選択）[N=613]

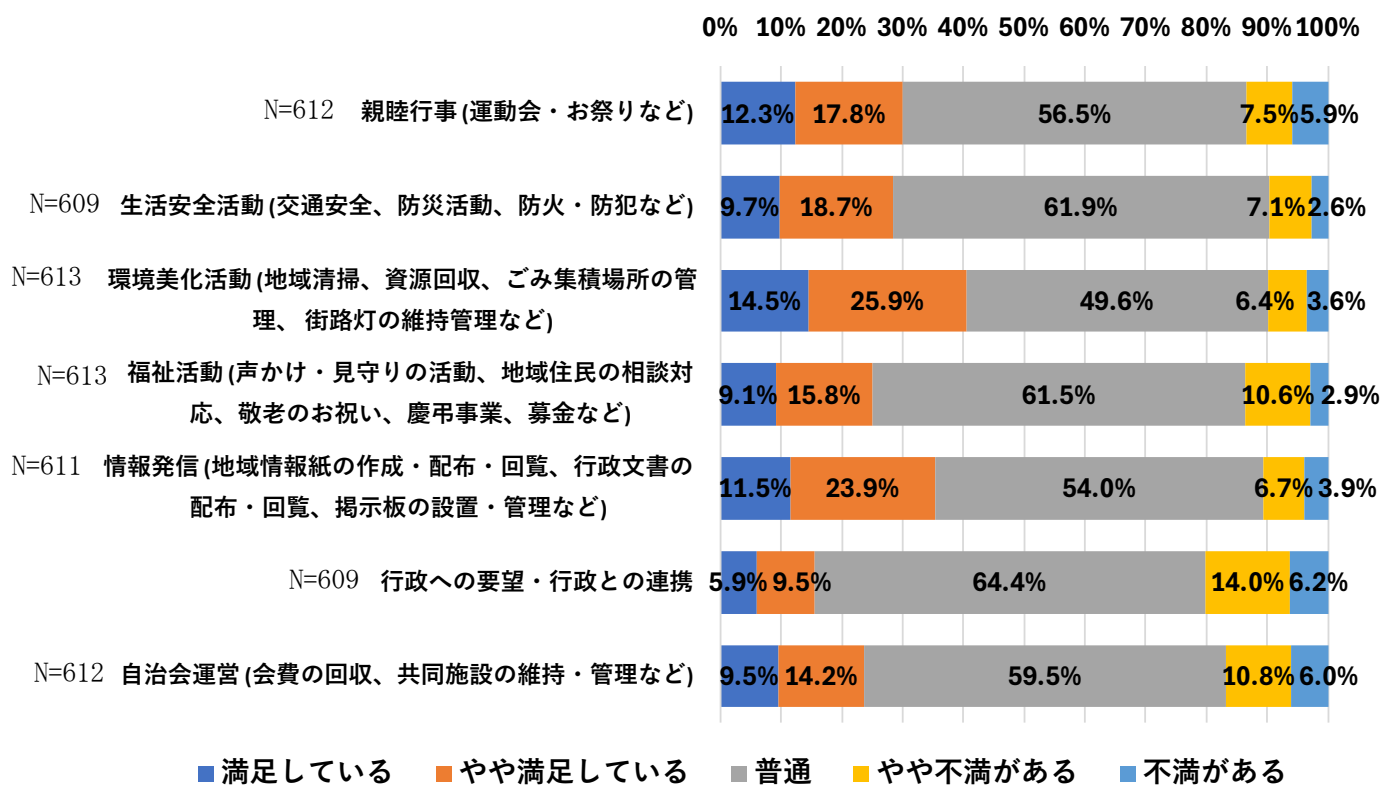


図 17. 各自治会活動への満足度

(5) 自治会活動のデジタル化に関する意向、期待や不安

導入について関心があるかという問いに対しては、「あてはまる」「ややあてはまる」を合わせて48.6%と半数程度が関心があるという結果となった。一方で、導入について不安があるかという問いに対しては、「あてはまる」「ややあてはまる」を合わせて28.8%、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」を合わせて28.4%と同程度の割合となった。不安の有無はどちらも同程度に存在していることが明らかとなった。導入によって自治会・地域がより良くなると期待するかという問いに対しては、いずれも「あてはまる」「ややあてはまる」を合わせて4割程度の結果であった。また、いずれの設問においても、「わからない」という回答が10%程度存在している点も特徴的である。(図18)。

自治会活動のデジタル化に対する期待については、回覧板業務の効率化が51.9%と最多であった。次いで、災害時の安否確認が44.7%、災害情報伝達が41.9%と災害時の活用への期待も多い結果となった。地域情報の入手のしやすさや情報発信についても36.5%と少なくない割合で選択された(図19)。

自治会活動のデジタル化に対する不安については、スマホを使えない住民への対応が68.2%と最多であり、次いでスマホを使える住民と使えない住民の情報格差が62.0%という結果となった。個人情報の漏洩についても51.2%と半数以上が選択した(図20)。

あったら良いと思うコンテンツについては、地域情報の発信が47.3%と最多であり、細かな地域・町内情報の共有、地域の飲食店のクーポン等のお得情報等の地域に密着した情報発信のコンテンツが多く選択された(図21)。

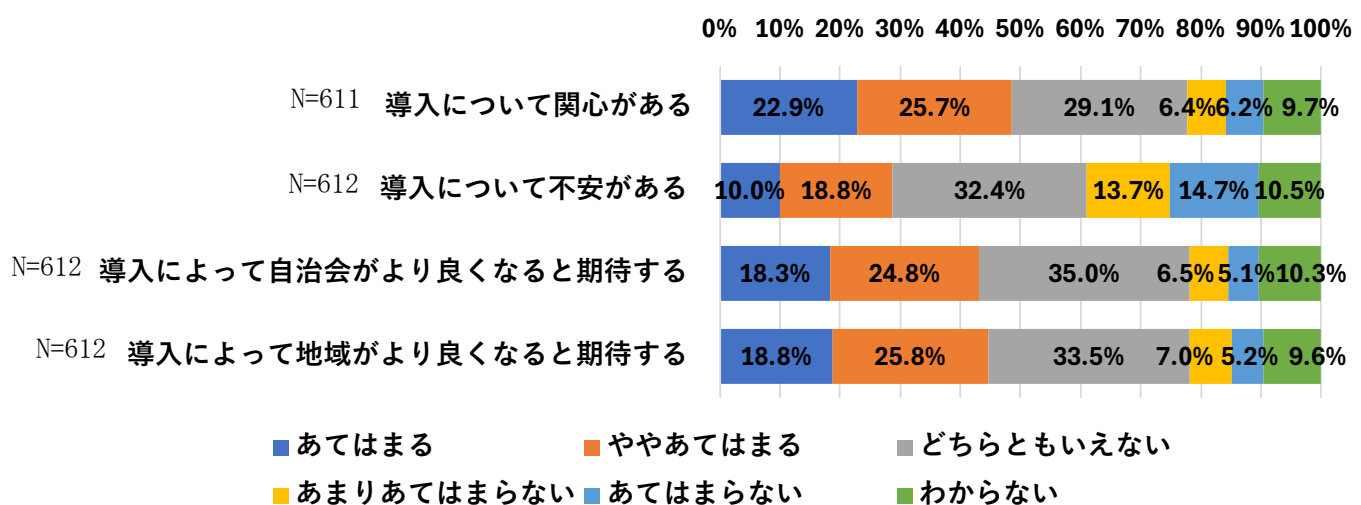


図18. 自治会活動のデジタル化に関する意向

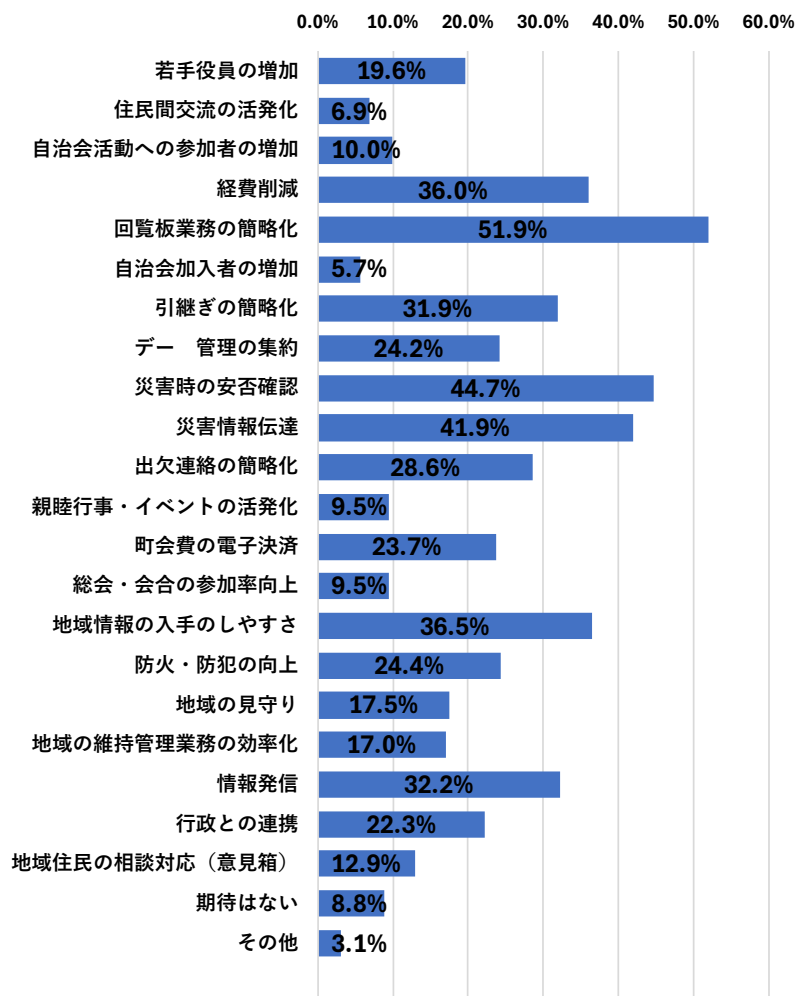


図 19. 自治会活動のデジタル化に関する期待（複数回答）[N=613]

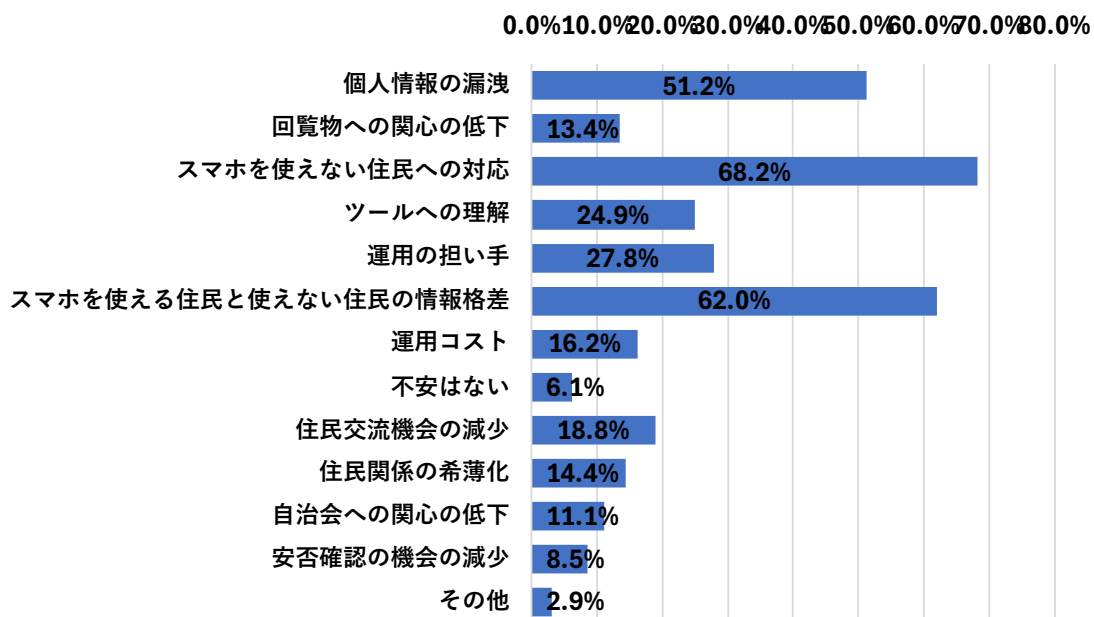


図 20. 自治会活動のデジタル化に関する不安（複数回答）[N=613]

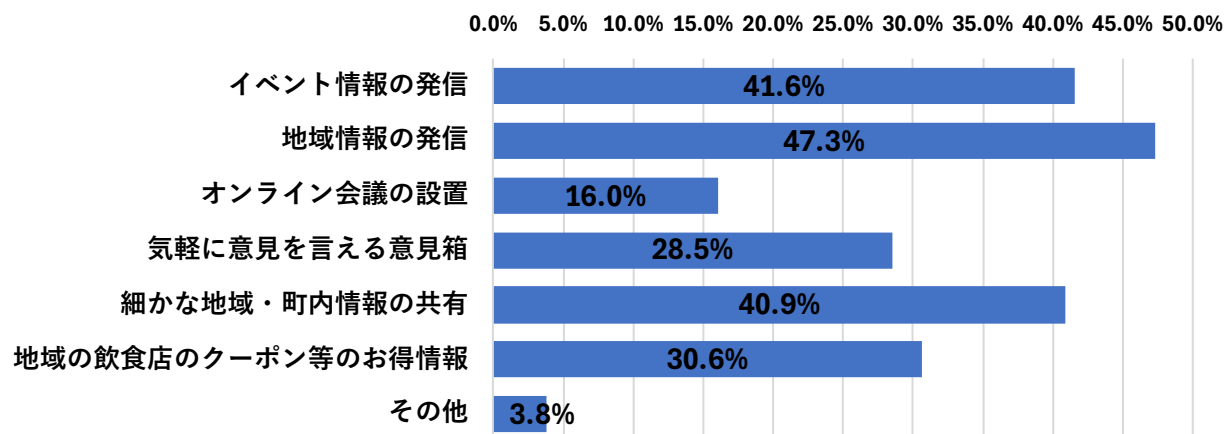


図 21. 自治会活動のデジタル化について、あったら良いと思うコンテンツ（複数回答）[N=613]

(6) インターネット利用に関する設問

インターネットの利用頻度に関しては、「毎日少なくとも一回は利用している」が 81.3%と最多であった。一方で「利用しない」は 8.9%という結果となった（図 22）。インターネットを利用する端末については、スマートフォンが 85.9%と最多であり、次いでパソコンが 49.3%であった（図 23）。インターネットを利用するツールについては、LINE が 84.6%と最多であり、次いでメールが 72.3%、YouTube が 66.1%という結果となった（図 24）。

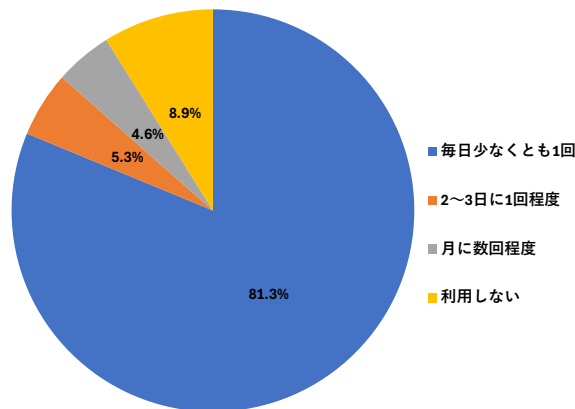


図 22. インターネット利用頻度 [N=608]

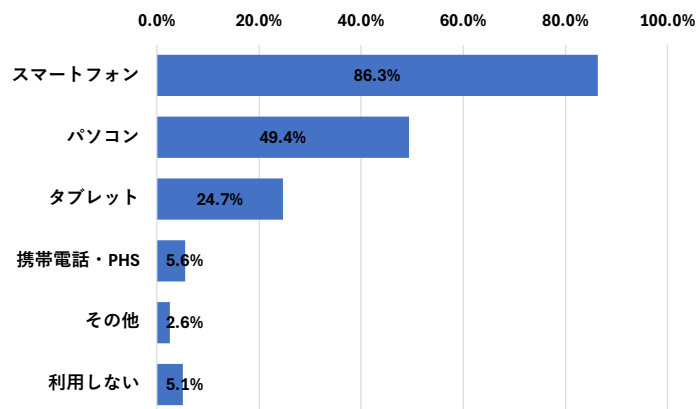


図 23. インターネットを利用する端末（複数回答） [N=613]

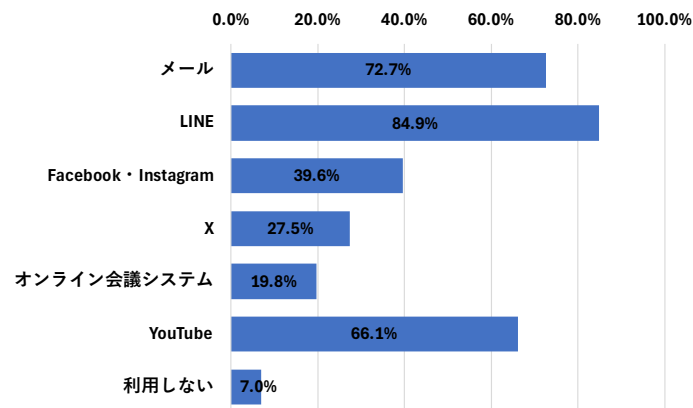


図 24. インターネットを利用するツール（複数回答） [N=613]

(7) 自治会活動のデジタル化への自由記述

- wi-fi のネットワーク状態が不安定だったり操作の仕方が分かりにくいなど問題が出て来そうだと思います。
- 使いやすさ。
- 高齢者の多い地域の為、デジタル化に対応できないと思う。
- 高齢者にとっては不親切この上なし
- デジタル化はいいが、いろんな不安があり、使いこなせるか自信がない
- 高齢者が多く、一人暮らしされている方も多いので、デジタル化は大丈夫なのか不安です。
- WiFi を全ての家庭と無料もしくは格安の無線を配備
- 平等にならない（スマホを使えない人を基本に考えた方が良い）
- 早くシステムが入るようになると良いですね。日本は外国に比べて遅れすぎているので・・・。でもお年寄りとかは大変そうですね。あと 20 年くらいかかりそう・・・？！
- スマホを持ってない
- ガラケーで通話だけという人もいます。スマホでも通話だけという人もいますが、そういう人にどうやってやるのか気になります。
- もっと若い年代にならないと意味がない
- してみないとわからない
- 何をどのようにデジタル化して誰がどのように運用していくか。またシステムのメンテナンスや設備の設置場所等様々な問題が立ち塞がる。運用者のスキルアップも課題。
- 地域の行事情報がたのしみです。
- 町費の集金を神社に行くのではなく口座引きおとしにしてほしい。それかケータイ決済。7 時～12 時まで自治会の人に対応するのは時代おくれ。
- デジタル（インターネット）使用理解出来ないのではわからない。
- 対面でのコミュニケーションの減少（人間関係の希薄化）。ICT 進化に対応（活用）出来るスキル UP。効率化。
- 「自治会長&3 役を評議員の中からくじ引きで選んでやってもらう」と言い出しています。これでは、自治会の評議員のなり手がなくなります。最悪の手を使い出しました。自治会は、維持できない状況です。（自治会活動で重要なものについて）自治会でやるべきか、市の役割かは、議論が必要。自治会は、地元の有力者が（商店主など）たばねてきた風土がある。その有力者たちがサラリーマンに順番で回そうとしている。市の末端としての役割と町の祭りや子供会、老人会などの行事を区分してやっていくべき。スマホでできるものじゃない。
- ついていけない
- 私は何とかスマホを使いますが、夫（6 歳上）はアナログ人間です。90 歳の叔母は 1 人暮らしの為スマホを使います。やはりデジタル化は必要だと思います。
- インターネット等を使用出来ない人達への対応

- 年齢の高い世帯が多い地区（市内●●町です。）に住んでいます。町内会を維持していくにはどうするかを既に課題としていて、毎年総会の時話し合いますが、答えが出ず・・・といった状況です。が。せめて回覧板を回す作業くらいはグループチャット等に切り替えて欲しいと思っています。（回覧板って回すのが地味に面倒くさい）
- 防災、災害時の避難場所を、各自治会から早く連絡方法を知りたいと思います。
- デジタル化と自治会・会員を結びつける意味が解りません。
- フォーマットの作成（町内毎に考えたら大変）。市政との連携。
- ①業務の効率化を求める少数意見で一律のデジタル化は人のつながりを無くし、地域の一体感が無くなる懸念がある。②高齢化率 35～36%の間う地域では、急いでデジタル化する必要はないと思います。③デジタル化、アナログの良さ（地域にとって）を根本的に議論する場が必要。④アンケート結果は、取りまとめたら地域にフィードバックして欲しいです。今後の活動に期待しています。
- 余りデジタル化すると、便利ではありますが、お隣同士のコミュニケーションが減ってしまうとは思いますが。回覧板をポストに入れるだけで、お隣でも、玄関の向きが違うので、ゴミ出しで会えば・・・。時間が違えばずっと会話もないままです。
- 年寄なので何もかもデジタル化になると不便（使いこなせない）になるのが不安です!!時代の流れでなれるしかないかな!!
- デジタル化による世代間格差が大きくなるので、その対処法がどうなるのか。
- 高齢者でスマホなどの端末がない場合も多く、デジタル化は難しいと思ってしまう。回覧内容がメールなどで送られてくれば、組長の負担も減り楽になると思う。
- 使えない人への対応は、現行もしくは使える人が情報伝達などをして、互いにストレスとならないか？そこから問題がおきてしまうのではないか？
- 回覧板、行政文書等もデジタル化してほしい。
- どれだけ正確にデジタル化に対応できるか不安
- 高齢化、人口減少が進み、小学校の存続すら危ぶまれる地域に暮らしています。自治会の各種委員は一件一役と言われ、場合によっては一件2役受けなければならない場合もあります。スマホは持っていても簡単な連絡ツール程度の使用のみという高齢者世帯ではデジタル化が進むことによって自治会の仕事を受けられないということになりはしないかと心配です。1件1役も難しくなっている自治会運営がさらに難しくなるのではないかスマホ・パソコンが得意な人に仕事が集中してしまうのではないかと不安です。
- 回覧物が多すぎる→無駄な担当が多すぎる→役所の縦割りをそのままミクロの校区に当てはめるなんて無理あり過ぎ！これを解消しない限りデジタル化なんて無理、無駄
- ネットは慣れたら便利ですが、初期手順がわからないと敬遠されがち。ネットで繋がった人間関係は希薄になりがちになるように思います。そういったことがないようにするためのイベントを用意しないとしない様に思います。デジタル化は賛成ですが、自分の頭でついていけるかも心配です。
- 本当に助けが必要な方々へ手が差し伸べられない現状があると思っています。自治会はその為にあるのではないかと考えています。
- 興味なし

- デジタル化は時間や身体的労力において良いと思いますが、ツールを使いこなせない人は阻害されてしまう様に感じます。
- リモートでの話し合いの推進。役がつくとかなりの回数集まらなければならず（数年前にした子供会はLINEを使い極力集まらず運営したが困ることはほとんどなかった。）負担が大きい。町費などの回収もかなりの額のお金を預からなければならず嫌だし、何度も行かないと全世帯分集められないのでそのあたりが変わると助かる。
- ・デジタル化で幅広い年齢層問わず行事情報を知ることができるが全世帯機能を使いこなすことができるのか不安もあります。・例えば、行事後の良かった点、反省点などを知ることができれば次に活かします。
- ・インターネットが苦手な方には不便だと思う・手軽に見れて質問等できれば便利だと思う
- 高齢の人に限らず、スマホ等を使えない人のためにどうするか課題を感じる。同居者に使える人がいるからと丸投げする対応もよろしくない。なぜならマイナンバーカードの時、市役所の人が一緒に来ていると理由で丸投げされた。同居しているならと家人に丸投げする傾向がある。スマホを持っているなら、それぞれが努力しなければいけないのかもしれない。
- 本アンケートとは関係ありませんが同封と封筒はアンケート用紙と折り直さなくても良いものを同封してほしい。以前より何度かアンケートしましたが、毎日アンケート用紙を折り直している。
- 日々の尽力に敬意
- 防災の面からすると地域にどんな人が住んでいるのか状況が把握されていると安心です。長い間のお付き合いですが亡くなったことを知らされないでいる方もいます。組は80軒ほどあります。災害時は人間関係が大事だと思います。
- 操作の講習などできる普及要員がいると良いと思います。
- 直接対話が少なくなると考えられるので、名前と顔が覚えられなくなる。
- 課題：ICTの利用が難しい・苦手な人への対応。回覧板・簡単な連絡はメールなどを利用してもよいのでは・・・。
- 導入に関するコスト等、負担部分。
- デジタル化の意味がよくわからない
- デジタル化のメリットが全く理解できない。
- 住民の意見がスムーズに自治会に届くこと。
- 期待はしない
- 機器の無い世帯への貸与
- 情報が早く伝わるのは素晴らしいが、ネットを使用しない年代やその方たちへの配慮が大切だと思われる。
- ICTツールの利用方法をHelpできる人材やシステムが課題かも？自治会に入籍って強せい？
- 高齢者やアナログの方々の対応が課題になると思いますが、時代の流れ的には、デジタル対応で良いと思う。

- デジタル化は時代の流れかもしれないが、メリットとデメリットを良く検討してほしい。老人はスマホを持っても使い切れていない。何故か昔のジグザグミシンと一緒に。この理由を考えては！返信封筒に入るサイズに折る事が常識だよ！
- 誰でも使いやすいようにする事（課題）
- スマホを使いこなせていないので難しいと困ります（心配です）。
- 誰にも（外国人など）わかりやすく利用できると良いと思います。
- オンライン会議を自治会に活用したい
- 町内会の廃止、行政文書等の配布の DM 化
- 現実的には導入すると二度手間になり、自治会活動の負担が増えるだけだと思う。回覧物だけをとっても、月初めには 10 種類以上の回覧物があり、中には各家庭に配布するものもある。回覧物も小学校や中学校から依頼されるものもあれば、警察関係のものもある。こういったものは情報量が多く、紙媒体でも見にくい。これらをスマホやタブレットなどで見ることはほとんど不可能。見やすくレイアウトしたら情報が欠落する。その結果として誰もその情報を見ないというシステムが出来上がるだけだと思う。
- 高齢者に対しての情報共有化
- 本年 11 月からの居住につき、状況が今ひとつわからない
- 会議等はどんどん ICT で行った方が良い。わざわざ会場まで行く手間がなくなり参加しやすくなるのでは。回覧物等はどんどん ICT で行った方が良い。みんなが情報共有可能となるため、現状でも可能ですが、紙ベース資料だと見ない人が多くいるため、強制的に送った方が良い。＊デジタル化のアンケートではなく、もっと自治会活動に参画するためのアンケートが先だと思う。
- 何とかスマホ、パソコン等使用していますが、わからないことも多々あり、操作や理解ができるか不安です。デジタル化されることで直接人と人が接する機会が減り、精神的に落ち込んでいく老人が増えていくのではないかとそこも不安です。
- 安否確認をデジタル化で行えるのは良いなと思いますが、災害時電波は大丈夫なのかなと気になりました。
- Q11 で書いた回答と同じ
- 年齢とともにインターネット利用回数の低下。利用しようとするツールの操作方法がわからない。
- 若い世代でスマホは使えてもパソコンが使えない人もいる。技科大で教えてもらえれば参加する人もいるのでは。
- 情報を発信しても一方通行にならないか？大多数の賛同が得られるのか？
- 年配の方がおい地区なので、平等に情報が伝わるのかが課題とを感じる。
- じじばばだけの生活ではなかなかネットに繋いでサクサク使いこなすのに時間がかかりやはり紙面での通信の方が安心できるし、また市の方から使い方の説明等が住民に指導する機会があれば出張で指導してもらいたい。
- たまたま尾道市の友達がおり、尾道市の自治会活動の AI を見る機会があり、素晴らしいシステムだと思った。
- 回覧板が面倒、年寄りが多い

- 回覧板のような各家庭に回さなければならないようなものや急ぎ回覧したいものがあるときはすごく便利だと思います。回覧板で回すとなると締め切り等があつてなかなか回せないです。
- デジタル化は良いと思いますが、人と人のつながりも必要では
- 若者と高齢者の情報量の格差（若者はデジタル化は当たり前のように受け入れられるが、高齢者はどうか）地域においては日常の何気ない会話で気持ちがつながり合うことも多いが、デジタル化が進んで顔を合わせなくても情報の共有ができるようになると、顔を合わせる機会が減るかもしれない。
- 回覧板のクラウド化、各集金をキャッシュレス化（PayPay など）
- デジタルといってもわからない。できない。
- ごみ集積場がいつもきたない。他の町内からもマナー違反でルール違反であるので、そのへんの管理ができればいいと思う。
- 回覧板は戦前のシステムでもう古いので、自治会サイトにパスワード（町内会費でパスワード公布）で入れる様にして情報提供すべしで、必要なモンはPCで印刷、但し年輩者の町内会長が馳駆し民間でPDF化してアップロードさせたりするマニュアル化、ソフト復旧が大切で、サポートする主事に研修が大切となる。とにかく簡易的にHPに載せられるソフト、スキャナーを使ったり音声入力をしたりする町内会回覧板ソフトにはニーズがある。過疎地で隣は2kmなら回覧板はムリ。町内会費もペイペイや郵便局のネットバンクを町内会HPにリンクさせると、未来の町内会は負担が小さくなる。この様なソフトを作れば大学ベンチャーも可能となる。町内会費から、毎年利用金をもらえばブルーオーシャンである。
- 現代っ子の様にIT化にツール導入と言っても、基礎ができていない高齢者には難しい課題だと感じます。ICT化する前に高齢者に勉強時間を設け指導して頂かなければ。誰が見ても解るように高齢者にも指導したらこの問題はたやすいと思います。
- 自治会活動の中身が良くわからない。自分が関わっているものしか分からない。特に関わっていきたくとも思わない。現在の活動が続いているだけの印象が強く内容では無く方法論には関心がない。
- 現在小中学校ではタブレットの貸出がありZoomを利用しているらしいが世帯によっては環境が整っていない場合もあり、町内全員参加はむずかしいと思うが、今のままでは自治会を抜ける事を考えている。
- 組長業務の簡略化を期待するが、高齢の方に使いこなせるのかは難しい。
- ・組（39世帯）で内38世帯でLINEグループを作成し、訃報など一斉案内（通知）することで従来の電話により言継ぎをしていた時間を省いた。・市のHP内、豊橋市自治会連合会HP内に各町自治会のHPを設け、自治会規約、年間行事予定などを掲載し、情報を共有する場を設けてはどうか。
- 「広報とよはし」の紙資料がいらなくなる（経費削減）。各家庭メールで新着情報を送付するだけになる。自治会の情報もメールで送信（紙資料がいらなくなる）。●●●として、例えば一週間見ない人がいた場合どうするか？安否？
- デジタル化に対応出来る年代にとっては便利なこともあるが、高齢者など対応が難しい人も多くいる。自治会には色々な年代の人がいる為、すべての人が公平になるように希望します。
- 高齢者が多くなっている。独居もいる。買物に出掛けるにも車がないと不便である。スーパーとのネット買物にスマホが使える様になりたい。
- 現状の自治会活動は主に高齢者でありデジタル化を理解するに時間が掛かります。若い人での参加が多くなる様お願いしたいです。無料？でのパソコン教室等を開いて下さい。私はデジタル化には興味有ります。今は園芸に興味有り、草木を育てています。デジタル化の今後の発展を望みます。

- 色々むづかしい事は分かりませんが、豊橋がステキな町になるように願っています。
- そもそも自治会への負担が大きすぎる。行政からの業務委任が多すぎる。このままでは自治会役員のなり手がなくなり自治会が存続できなくなる。
- 関心の無い人に認知させること
- 高齢者には無理
- 防犯・防火について関心がある。町内のみんなの意見箱 LINE で、不審者の目撃情報を迅速に共有できるという。地域で協力して地域を守る取り組みがあるとよい。
- 出来ない人達の事も考えて欲しい。
- いち早い情報収集にはデジタル化はかせないと思いますが、地域の人とのつながりはやはり顔を見て声をかけあってというのがかせないと思います。デジタル化に頼りすぎではいけないと思います。
- ・過疎高齢化によりデジタル手段が必要になることは目に見えている。なぜモデル地域を選んで実証実験をはじめないのですか？遅すぎる！・ティーズ回線が行き渡っているのが利用できませんか？ 追記：豊橋技科大学はロボット技術が大変優れていると理解している。豊橋市のマスコットトヨッキーの完全ロボット化を全国に先がけ取組んでほしい！着ぐるみマスコットなどは人気がいくらあっても、技術とは無縁。
- 今の時代なかなかついて行くのがむづかしい。
- 自治会の組長会が曜日に関係なく毎月決まった日（2日・15日など）に開催されます。夜に開催されるとしても、サラリーマン世帯が組長になると、平日は参加しにくい事情があります。Web 会議など、サラリーマンが勤務先から参加できるようにするか、情報配信・質疑応答を Web 形式にするなど、将来的な改善・進化を期待します。
- 自治会の活動はある程度顔の見える関係も必要だと思う。顔を知った上で、デジタルツールを活用する方が安心感がある。
- 便利になる部分は多いと思うが、人間の交流が希薄になると思います。
- 年寄り家庭の導入はどうか
- 少子高齢化社会になり、地元も淋しくなりました。デジタル化とともに、技科大や愛知大が地域連携のキーステーションになってほしいと思います。
- デジタル化にともなう通信料の見直しをしてほしい。
- 高齢化に伴いデジタル化は完全になってしまうと情報を得れる人、知らなくなってしまう人の格差ができてしまい高齢の人は家の外に出なくなってしまう危険があります。隣り近所の状況が分からなくなりそうです。
- ICT ツールを使用できない住民への対応をどうするかが不安である。
- 私の地 160 戸程の 50 余年前にこの地に根を植え、生活を始める。その中で自然の豊かさに感じ今も満足をする。でも半数以上が高齢で二人のみでの生活をしているのが現状である。自治会の役員とは名前だけであって、なかなか責務を果たしていない。できない。フィードバックなしなのが現状また、町民の横の糸がないのが自治会の責務なのだ。デジタル化については全戸の意を聞く必要があると思う。
- 人口の減少。田舎なので人間関係がめんどくさい。デジタル化を進めて豊橋市がよくなると思いますか？いかに人口を増やすか、豊橋の町の中が空洞化しているし、活気がない。自治会の活動よりも豊橋

のことを考えて欲しいです。ラジオも入りにくいし、災害情報もスマホだと電池切れが早いから充電ができない時どうなりますか？

- 使える人と使えない人で格差が開くことが課題で不安を感じる。
- 県営住宅でもネット回線（WiFi）ができるようにしてほしい
- 回覧板アプリに検索機能がなく情報が探しにくい。 ネットリテラシーが低い人への対応が課題に感じます。具体的には、老人が表示範囲を理解してないのか、回覧板アプリの講習会に出た時の私用とも思える投稿を町内の回覧板に流していることがあった。
- 希望者に情報を送る、ぐらいなイメージしかわかりません。
- 自治会がデジタル化し、負担が少なくなり働く世代の若い自治会長が多くなって欲しいと思います。そうすることで、新しい意見や、幅広い世代の意見が取り入れられて変わってくるのではないかと思います。
- デジタル化に対する知識やスキルが各個人で格差があるのでどのように対応していくかが課題だと思います。また、町内会や組の構成がどうなってるのか等益々希薄になってしまわないか心配です。
- 若い世代が自治体の活動内容を把握できていない、そのため関心も薄い。必要性の理解も薄い。
- 回覧板の情報が遅れて届くことが多い。自治体から一斉にネットを用いて情報発信すれば、良い。自治会は、行政サービスの一部を地域ボランティアに依存しているもので、行政の責任が果たされていないのではと思う。
- 組長の仕事が楽になればいいなと思います。しかしデジタル化により、今まで回覧板で回っていたレジメを読まなくなる人は増えると思います。参加不参加の意思表示などもデジタルで出来ると便利ですが、期限を過ぎても返事をしない人が必ずいるので、その辺の協力意識をみんなが持たないといけません。
- 高齢者の置きざりが心配
- 情報漏洩が不安。 個人情報漏洩には一層の注意を払っていかねばならない時代です。しっかりと対策できるのであれば進めていただきたいです。
- ツールのセキュリティの問題。ラインはすでに情報漏洩が指摘されており、町内会として個人情報、世帯情報を集めるのであればかなりセキュリティ性の高いツールでなければならないと思う。そもそもツールを使いこなせない住民についての対応が可能であるのか疑問。導入段階での負担が大きい印象。災害時の停電、基地局の被災等によりデジタルでの情報発信、受信ができない場合の対応が可能であるのか疑問。
- 高齢者が使えない。
- 管理
- デジタル化は手段であって目的では無いので、デジタル化が目的化されている事が課題であると感じます。
- デジタル化に対応できない人のサポートが重要だと思います。
- 広報を毎月組長が配布しますが、フルタイムで夫婦ともに働いている身としては非常に負担です デジタル化してくれれば組長の負担は減るし、資源の面でもコストダウンできるのではないかと思います。そもそも広報を読まないの、必要性が感じられません

- 市内でも自分の住む校区は僻地で過疎化が進んでいる。街中と違い高齢者も多い。現在は SNS などから色々な情報が入り使用している人も多いが、デジタル化を進めるにあたって、市民格差はあってはならないと思う。
- UI が悪いと使う気が失せてしまうので頑張って欲しいです。わかりやすくシンプルなものをお願いしたいです。
- 私個人は自治会活動のデジタル化はとても良いと思う。オートロックマンションや単身マンションが増えてきて、あまり回覧をゆっくり目にすることがない住民に町内の情報を伝えたり行事の案内をして自治会のことを伝えられるのは良いと思う。ただ、決定権のある自治会役員が、高齢の方が多いため、導入してもらえるかどうか？ また、町内も高齢者のみの世帯もあるのでその方達をどうするかなど課題はあると思います
- 以前、自治会からのメールを見落としてしまい 530 運動に参加するのを忘れてしまいました。今後はメールをしっかりチェックしていきたいと思っています。
- 操作性とセキュリティがだいじょうぶかな？と思う部分。
- 自治会活動でデジタル化されると時間も手間ももっと省けると思ったことは、多々ありましたので、推進できるなら、子育て世代、共働き世帯の方などは、とても便利になるのではないかと思います。ご高齢で役員をしてくださっている方々も多いので、その世代の方々に納得していただくこと、また説明会等が必要になるかと思います。それと自治会ごとに行事内容も大小色々、長年の慣習などもさまざまなので、課題も多いと感じます。
- 年寄が多いため、対処に困ると思う。若い世代は問題ないのでは。しばらくはオンラインとのハイブリット型で対応となるのでしょうか。コストや時間の節約になるのでとてもいいとこだとは思いますが、全てリモートではなく時には清掃活動などで面識があったほうが防犯などの面で良いとは思いますが。
- しょうもない連絡事項をいちいち紙媒体で回されてめんどくさい
- デジタル難民の救済。
- ○自治会のデジタル化のメリットやデメリットが、まだあまり知られていないと感じるので、まずは知って考えてもらうことが課題だと思う。○災害時の助け合いや日頃の防犯の目的で、日頃から顔を合わせてお付き合いすることが、自治会加入の最大の目的だと思うので、デジタル化にはあまりピンとこない。
- 自分はデジタル苦手で興味もないですが今よりもさらに近所の関係がきはくになるのではないのでしょうか？
- 回覧板は電子化できるといいと思いました。一方で自治会は「顔の見える関係」を作ることが大事かと思うので、その機会を減らすことにつながる使い方はデメリットが大きいと感じます。
- ICT ツールを導入する際の一番の懸念点は運用側の IT リテラシーの低さだと考えます。多くの機能を一度に搭載するのではなく、ヒューマンエラーが起こっても実害がないデータの取扱いから開始し、運用者自身がデジタルに慣れていく過程で IT リテラシーも高めていくべきです。個人情報を取り扱う重責を理解出来る人間をどれだけ作れるかで、自治会のデジタル化の成否は決まるのではないのでしょうか。

- デジタル化をすれば、働きながら自治会に参加できる人が増えるのでは、と思います。ただ、簡単に扱えるツールにしなければ、多世代の方たちにとって使いやすいものにならないとも思います。簡単かつセキュリティの面も安心なツールをぜひ考えて頂きたいです。
- 自治会のデジタル化を是非推進致します、資源保護や情報の共有がスピード感を持って出来る事や発信するタイミングも受けるタイミングも時間を気にせずに行える事
- 課題は扱う人のデジタルリテラシー。それとモラル！とはいえ便利なものは使わなきゃ損なので多少強引にでも始めて、いろんな人いますので問題は起こると思って構えてやるべきとおもいます。
- デジタル化により、もっと時間を有効に使えるようになれば良いと思いますが、それにより人間関係が希薄にならないようにする必要があります。
- ここの自治体は会費だけ取って何も無いと言われてるので私も含め参加辞退する人が増えてます。会費用途がハッキリと分かるようにして地域活性化するといった反面、デジタルが苦手な人を置いていかない動きもしないといけなくて動き出すまでが大変そう。
- 必要な物を市で用意してください。
- 広報とよはしは不要。少なくとも WEB でよい。紙での配布は全くの無駄。税金の無駄使い。その他行政で不要・無駄な業務多い。
- 将来自治会の会合を減らしてほしいので、オンライン会議のようにしてほしい。集まりが多すぎる。回覧板も今の時代にそぐわないのではないかな。
- 引っ越す前は自治会に参加していたが今はしてません。アンケートの参考にならなかったらごめんなさい。
- 個人情報漏洩
- 自治会のミーティングは平日の夕方以降の時間帯で公民館へ集まってやってみたいなので、オンラインで済む内容であれば出向かなくても良いと思った。訃報の回覧は急いで次のお宅へ回さないといけなく焦るのでデジタルで配信できたら良いと思った。
- メタバースで市役所等の手続きが出来るようにしたい メタバース上で学校に行けない子の支援（教室場所提供）をしたい メタバース上で保護犬猫の架け橋をしたい
- 新しい 長坂 市長とも情報共有しながら、研究成果が自治会活動の負担軽減につながることを期待しています。
- デジタル化の実現はさておき、できれば自治会同士、質や情報の均一化が出来ると嬉しい。例えば良い習慣や手段を横展開したり、悪習を止めたり改善したりした情報を共有することで、参加しにくい人々が減るのではと思う。特に初めて参加する自治会では、どんな役がどんなことをするのか分かりにくく、自分に出来るのかどうかの判断材料がなくて、積極的に「やる」と言いづらい。（そう言った情報は「ママ友」等がいないと得づらい）透明化とまでは言わないが、私はそう感じました。デジタル化、頑張ってください。
- 家族構成の変化に対応できるようアナログとデジタルを常に選択出来るようにして欲しい
- 高齢者がデジタルを使うのは難しいと思うし、代替わりを待てばいいので推進する必要もないと思う。ただ、子育て世代はみんなスマホを使えるし、子供会のお祭りなどの出欠確認が Google フォームでできるのはありがたかったので、スマホを使いこなせる世代に関係ある範囲でデジタル化を進めてもらえるととてもありがたい。

- いつもデジタル機器を最新の状態で維持管理していけるのか？
- 高齢になっていくので少しでも組の仕事が少ない方が良い。 が 孤立するのも不安。
- だいたい 60 代以降の世代はスマホの操作に不慣れな方も多いので、自治会のデジタル化で困る人も多いのかもしれない。(身近に助けてくれる親族や知り合いがいれば良いのですが、そうでない方は特に。)身近な人、場所に気軽にスマホやパソコンの操作を聞けるような仕組みがあれば良いかと思えます。
- 他地域の活動も見れたら、もっと良いかと思われま。
- 案内文書の印刷や配布、集金等の業務が簡素化されることを期待します。一方で対面する機会が減ることとで地域のつながりが希薄になることが心配です。
- デジタルに対応できない人と、デジタルが便利だと感じる人の二つの対応を両方しなければならなくなった場合、手間が増えるのではないのでしょうか？ お知らせなどはポストに投函されることで目にしますが、自分からアプリなどを見に行くとなると認識される確率が低くなる気がします。
- 自治会費用をどのようにして使われているのか、みんなと共有できることを願いたい。ポケットマネーにならないように。
- セキュリティ 情報の氾濫 ツールの悪用
- ご近所さんの高齢化や非加入のお宅が増えて、組長の役を 3 軒で回している状態です。デジタル化で役の負担を減らしたり、意見を出しやすくすることで加入者への還元があれば新しい加入者も増えてくれるかなと期待します。
- お年寄りの多い地域なので 私も含め 使いこなせないのではないかと思います
- デジタルツールを使いにくいシニア世代でも若者世代が理解して、協力を得られれば、世代間の交流が生まれて良い機会になると思います。
- お年寄りなど、ICT ツールを使いこなせない方たちへの対応を誰が担うか、どう担うかが課題だと感じます。
- 地域にはインターネットが使えない方 スマホなどの苦手な方が まだまだたくさんいる事が大きな課題に感じます。
- オンラインでの集会 回覧板廃止 集金廃止
- 高齢化の進む地域なので、デジタル化がどの程度定着できるか課題だと思います。ただ、回覧や情報共有を始め、自治会費の支払いなど、今のやり方では持続可能ではなく、大変だと思うので、デジタル化になるとよいのでは、とも思います。
- システムの簡素化(誰が担当しても労せずして管理出来るかが重要だと思います)町民の流出によって自治会役員の成り手が高齢化してるため
- ○推進して欲しい 対応可能な人にはデジタルで 高齢者には既存のアナログで対応して欲しい ○個人的な願望 以前、近隣の賃貸住民外国人の迷惑行為でトラブルになった時、大家さんや自治体に相談しても全く解決に至らなかった。 そうした多文化共生の難しさを抱える地域の方とデジタル化で共有し多くの方に現状を知っていただき、解決に導けることが出来たらと期待している。
- 子ども会が LINE グループで運用されており、便利になったと思う。自治会も同様の運用でいい(組毎の LINE グループ、役員 LINE など)、スマホ使えない世代には自ら公民館に定期的を確認行く(欲しい情報は自ら得る意識)で良いのでは。そうすれば回覧板廃止できる。

- ハッキング等への対策はどうなるのか気になる。 また情報を発信しても受信する側がそれに気づき目を通さないと意味がないので、ちゃんと目を通すような工夫・対策をして欲しい。
- 私の地域はお年寄りが多く、ついていけない方が多いと思う。
- 課題は、高齢者のみ世帯への対応。 デジタル化により回覧物が減るなど、効率的になると思います。
- 今の所は不自由な部分が有りつつも 何とか使っていますが年齢が進みますと自信がありません暗証番号を思い出せないとか 便利か不便かの個人差が大きいです。
- 年齢の情報格差が大きいので段階的に移行していくしかないのでは。
- デジタルが使えない人もいると思うので、そこを考えて欲しいと思う。

まとめ

本調査では、豊橋市の住民を対象とし、地域への意識、幸福度や自治会活動への満足度を把握するとともに、自治会活動のデジタル化への意向を明らかとした。

回答者は、女性がやや多く、各年代同程度の割合から回答を得た。親と子の2世代同居のものが半数以上であり、居住年数については幅広い年数のものからの回答を得た。

地域への意識、幸福度では、地域に対して良い印象を持っているものが多いが、地域を誇りに思うかという問いに対しては、やや誇りに思わないものが多かった。幸福度は約75%のものが幸福に感じていた。

自治会活動については、積極的に参加しているもの消極的なもの両方が同程度の割合存在しているが、自治会が必要かという問いに対しては、約55%が必要であると回答していた。参加はできていないが必要性を感じている回答者が多くいることが明らかとなった。地域の維持管理の活動や防災、防火・防犯、見守り活動といった地域の安全に関わる活動が重要な活動として多く挙げられた。各活動への満足度については、環境美化活動が比較的高く、行政への要望・連携が低かった。

自治会活動のデジタル化に関する意向については、半数程度が関心があると回答していた一方で、不安については、不安を感じているもの感じていないものが同程度存在していることが明らかとなった。具体的な不安の内容としては、スマホを使えない住民への対応、スマホと使える住民と使えない住民の情報格差が多く挙げられた。期待については、今ある活動の効率化や簡略化、災害時の活用について多く挙げられた。あったら良いと思うコンテンツについては、地域に密着した情報の発信が多く挙げられた。

自治会活動のデジタル化への自由記述では、高齢者が多い地域での対応や、デジタル化による対面で会う機会の減少に関する記述が多く見られた。一方で、オンライン会議を活用すれば働きながらも自治会役員をやりやすいという意見や回覧板業務の簡略化を期待する声も多く挙げられていた。